

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 中広
 コード番号 2139 URL <http://www.chuco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 後藤 一俊
 (氏名) 中島 永次

TEL 058-247-2511

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|------|-----|------|------|--------|-----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 4,768 | 4.1 | 314 | 1.5 | 298 | △4.2 | 184 | 2.5 |
| 26年3月期第3四半期 | 4,581 | — | 309 | — | 311 | — | 179 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 189百万円 (3.0%) 26年3月期第3四半期 183百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第3四半期 | 28.16 | 27.44 |
| 26年3月期第3四半期 | 27.73 | 27.22 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第3四半期 | 2,988 | 1,191 | 39.9 |
| 26年3月期 | 2,785 | 1,027 | 36.9 |

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 1,191百万円 26年3月期 1,027百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 6.00 | 6.00 |
| 27年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | — | — | 8.00 | 8.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当7円00銭 記念配当1円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 6,600 | 5.1 | 520 | 19.5 | 520 | 17.7 | 320 | 16.1 | 48.92 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期3Q | 6,844,000 株 | 26年3月期 | 6,754,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期3Q | 243,864 株 | 26年3月期 | 243,864 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期3Q | 6,541,591 株 | 26年3月期3Q | 6,483,129 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年12月31日)におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀による金融緩和により円安・株高が進み、原油安等もプラス要因となっているものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動からの回復は鈍く、先行き不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループにおきましては、主力のフリーマガジンを中心に、業容の拡大に努めてまいりました。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は4,768,879千円(前年同期比4.1%増)、売上総利益は2,121,841千円(前年同期比8.9%増)となりました。

利益面では、営業利益は314,393千円(前年同期比1.5%増)となったものの、12月に東京証券取引所に上場した費用を計上したこと等から、経常利益は298,849千円(前年同期比4.2%減)となり、四半期純利益は184,193千円(前年同期比2.5%増)となりました。

a. メディア事業

メディア事業のフリーマガジンは、平成26年3月に愛知県名古屋市全域を配布エリアとしたことにより、同エリアにおける広告受注を順調に伸ばしました。また、当社グループ事業の全国展開としてVC(※)契約を推進し、当第3四半期連結累計期間においては、フリーマガジン発行で3社と契約を締結いたしました。

これらの結果、メディア事業の売上高は2,812,310千円(前年同期比10.0%増)となりました。

なお、平成26年12月末現在、当社が発行するフリーマガジンは46誌、発行部数278万部となり、VC契約による発行も合わせますと74誌、総発行部数456万部となりました。

また、当社が運営いたします地域みっちゃく生活情報総合ポータルサイト『フリモ』(furimo.jp)の会員数は110,657名、掲載店舗数は21,780件となっております。

(注)当第3四半期連結累計期間におけるフリーマガジン発行誌数は46誌で、第2四半期連結累計期間における47誌より1誌減少しております。減少の理由は営業効率を勘案し、愛知県名古屋市中区で発行する「中区フリモ栄版」と「中区フリモ大須版」を「中区フリモ」に統合したことによるものです。

(※)Voluntary Chain(ボランティア・チェーン)契約。複数の仲間が独立性を保ちながら志を共に共同で企画・営業・運営をする組織。

当社は、フリーマガジンの全国展開を広告媒体のインフラ整備と捉え、当社のフリーマガジンの考え方(地域みっちゃく・厳格な掲載基準・正確な配布部数)に賛同頂ける企業を募り、配布エリア拡大のスピードアップを図っております。このことにより、大手広告主からの広告受注を図り、収益拡大に繋げてまいります。

b. 広告SP事業

広告SP事業では、テレビCMの受注が前事業年度を下回ったことや、消費税増税後の消費落ち込みの影響等から、売上高は1,956,568千円(前年同期比3.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて202,812千円増加し、2,988,692千円となりました。これは主に現金及び預金が153,253千円及び受取手形及び売掛金が53,677千円増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて38,992千円増加し、1,797,097千円となりました。これは主に未払法人税等が101,072千円減少したものの、買掛金が74,396千円及び短期借入金が増加した60,000千円増加したこと等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比べて163,819千円増加し、1,191,595千円となりました。これは主に利益剰余金が増加した145,132千円、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ6,750千円増加したこと等によるものであります。

なお、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は39.9%であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成26年5月9日発表の「平成27年3月期の連結業績予想」に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|-------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 673,003 | 826,256 |
| 受取手形及び売掛金 | 724,341 | 778,018 |
| 商品 | 4,649 | 7,502 |
| 仕掛品 | 19,878 | 15,330 |
| 貯蔵品 | 729 | 729 |
| 繰延税金資産 | 31,867 | 10,383 |
| その他 | 67,773 | 92,699 |
| 貸倒引当金 | △6,970 | △7,205 |
| 流動資産合計 | 1,515,273 | 1,723,715 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 255,790 | 251,073 |
| 土地 | 695,382 | 695,382 |
| 建設仮勘定 | 607 | - |
| その他(純額) | 81,389 | 73,469 |
| 有形固定資産合計 | 1,033,169 | 1,019,924 |
| 無形固定資産 | 44,273 | 39,522 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 59,317 | 66,166 |
| 差入保証金 | 154,438 | 158,156 |
| その他 | 29,802 | 31,825 |
| 貸倒引当金 | △50,393 | △50,618 |
| 投資その他の資産合計 | 193,164 | 205,530 |
| 固定資産合計 | 1,270,607 | 1,264,977 |
| 資産合計 | 2,785,880 | 2,988,692 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 540,847 | 615,243 |
| 短期借入金 | 272,000 | 332,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 118,332 | 118,332 |
| 未払金 | 51,601 | 60,738 |
| 未払費用 | 58,183 | 84,447 |
| 未払法人税等 | 125,347 | 24,274 |
| 預り金 | 23,363 | 72,329 |
| 賞与引当金 | 52,749 | 14,024 |
| その他 | 75,666 | 131,808 |
| 流動負債合計 | 1,318,091 | 1,453,198 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 356,845 | 274,791 |
| リース債務 | 70,630 | 57,228 |
| その他 | 12,537 | 11,879 |
| 固定負債合計 | 440,012 | 343,898 |
| 負債合計 | 1,758,104 | 1,797,097 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 382,550 | 389,300 |
| 資本剰余金 | 73,050 | 79,800 |
| 利益剰余金 | 581,600 | 726,732 |
| 自己株式 | △15,753 | △15,753 |
| 株主資本合計 | 1,021,446 | 1,180,078 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,329 | 11,516 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,329 | 11,516 |
| 純資産合計 | 1,027,776 | 1,191,595 |
| 負債純資産合計 | 2,785,880 | 2,988,692 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 4,581,749 | 4,768,879 |
| 売上原価 | 2,633,538 | 2,647,037 |
| 売上総利益 | 1,948,211 | 2,121,841 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,638,551 | 1,807,448 |
| 営業利益 | 309,659 | 314,393 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 487 | 590 |
| 受取配当金 | 4,679 | 3,163 |
| 受取賃貸料 | 9,104 | 9,224 |
| その他 | 2,666 | 4,209 |
| 営業外収益合計 | 16,939 | 17,188 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,359 | 4,562 |
| 支払手数料 | 2,646 | 23,405 |
| 車両事故損失 | 4,553 | 4,763 |
| その他 | 1,237 | - |
| 営業外費用合計 | 14,796 | 32,731 |
| 経常利益 | 311,802 | 298,849 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 89 | - |
| 投資有価証券売却益 | 244 | - |
| 段階取得に係る差益 | 1,950 | - |
| 負ののれん発生益 | 1,045 | - |
| 特別利益合計 | 3,329 | - |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,324 | - |
| 投資有価証券評価損 | - | 1 |
| 投資有価証券売却損 | - | 13 |
| 減損損失 | 458 | - |
| 特別損失合計 | 7,782 | 15 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 307,349 | 298,833 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 120,902 | 93,219 |
| 法人税等調整額 | 6,657 | 21,420 |
| 法人税等合計 | 127,560 | 114,640 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 179,788 | 184,193 |
| 四半期純利益 | 179,788 | 184,193 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 179,788 | 184,193 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,094 | 5,184 |
| その他の包括利益合計 | 4,094 | 5,184 |
| 四半期包括利益 | 183,883 | 189,378 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 183,883 | 189,378 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
| | メディア事業 | 広告S P事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,557,177 | 2,024,571 | 4,581,749 | — | 4,581,749 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,557,177 | 2,024,571 | 4,581,749 | — | 4,581,749 |
| セグメント利益 | 388,156 | 269,216 | 657,372 | △347,712 | 309,659 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益として、株式会社エルアドの発行済株式の全てを取得し、同社を連結子会社としたことによる1,045千円を計上しております。

なお当該負ののれん発生益は、各報告セグメントに配分していない全社の特別利益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、四半期連結財務諸表を作成しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|--------------|----------------------------|
| | メディア事業 | 広告S P事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,812,310 | 1,956,568 | 4,768,879 | — | 4,768,879 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,812,310 | 1,956,568 | 4,768,879 | — | 4,768,879 |
| セグメント利益 | 420,625 | 273,013 | 693,638 | △379,245 | 314,393 |

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。